

医局だより



超緊急帝王切開シミュレーション

こんにちは！

先日まで、夏休みのラジオ体操に子どもに付き添って行っていました。昔は夏休みいっぱいやっていた記憶がありますが、最近は10日間程度で終わります。ポケモンの可愛いラジオ体操出席カードをもらい、都内だからかもしれませんが、毎日ジュースやお菓子を振舞われ、超やる気の出るラジオ体操に様変わりしています。最終日には、表彰状、お菓子、ノート、鉛筆、ステッカー、おにぎり券、と大量のお土産をもらいました。昔は最終日にノートをもらってそれだけで大喜びしていたのに…と、『昔は〇〇だったのに』おばさん、みたいな考えが度々湧いてきました。でも、朝から清々しい気持ちになり、音楽を聴いただけで体が勝手に動いてしまうラジオ体操に感動し、みんなと一緒に体操する日本人の団結力に素晴らしさを感じました。来年も行きます！

全然関係ない話から入りましたが、今月号では7月に行った、超緊急帝王切開シミュレーション、つまりGrade A帝王切開の話題を取り上げます。いないと思いますが、医局だよりファンが万が一いらっしゃれば、定期的にこのシミュレーションが記事になっていることをご存じと思います。

2025年9月号でも超緊急帝王切開シミュレーションを、2023年2月号では死戦期帝王切開のシミュレーションを、2022年6月にはスーパー母体搬送シ

ミュレーションを、2018年7月にも超緊急帝王切開シミュレーションを行っていました。つまり、鉄板ネタです！今回も、産婦人科、看護師・助産師、麻酔科、手術室、小児科など多くのスタッフに参加していただきました。今回の症例は、常位胎盤早期剥離を想定したシナリオによる Grade A シミュレーションでした。



今回は写真がたくさんあるので、どうぞご覧いただこうと思います。まずは、シナリオとシミュレーションの流れを確認しています。



いよいよシミュレーションが始まりました。Grade Aを宣言し、妊婦をストレッチャーに移動させています。



急いで手術室に向かいます。写真には見学のスタッフも大勢写っていますが、実際の Grade A では少人数で大急ぎで向かいます。時間との勝負です！



オペ室に到着しました。麻酔科の先生方がすでに準備をして待っていています。ちなみに、妊婦役は本物の妊婦さん、久木田先生でした！



隣では新生児科の先生も準備を進めています。



手術開始まで流れを確認したところでシミュレーション終了です。



シミュレーション後は、参加したスタッフみんな、意見交換会を行いました。これまで何度もシミュレーションを行っていますが、スタッフも入れ替わるため改めて確認を行いました。



最後の一枚は、わたくしお得意の迫力あるパノラマ写真です！構図が、青組 vs. 白組の戦いみたいですが、一同で仲良く意見交換をしているところです。

ラジオ体操は、小さいころから何度も行ったことで頭に刷り込まれています。
シミュレーションも定期的に繰り返し行うことで、確実に定着していきます。
Grade A 帝王切開もそろそろ体に刷り込まれてくるころだと思います！
冒頭のラジオ体操の話題を、意味ありげにつなげることができました！

2026 年 8 月 5 日

文責：廣瀬 明日香